

おんくさく

会報 第四十三号

発行日 平成二十一年七月十日
 編集人 南洲吟道会広報局
 発行人 理事長 吉永洲神
 発行所 〒二五〇〇三五 東京都中野区白鷺二一三四一五
 (社) 日本吟道学院南洲吟道会

☎・FAX 〇三(三三三〇)七〇〇九

本会創立三十五周年記念大会を前にして

吉永洲神

十月三日(土)、本会創立三十五周年記念大会を練馬文化センターにて開催します。これに伴い各会員の皆様方に大変なご支援とご協力を頂いております事に先ず以て厚く御礼申し上げます。どうぞ宜しくお願いします。

昨年八月夏休みの期間に吉永洲神吟道七十年の歩み「魂のひびき」の台本を、龍陽会長に渡しました。これをそのまま実施すると約二時間半に及ぶものであります。これをバツサリ切り捨てたり、朗読にしたり、説明に留めたりして龍陽会長が縮めて約一時間余りの構成吟にしてくれました。その外、記念大会の企画・演出・構成・プログラム等総てを龍陽会長がパソコンを駆使して作成してくれました。ただただ「感謝」あるのみです。

八月二日夏季吟道大学講師、十月三日本会記念大会、十月十九日千鳥ヶ淵全国戦没者慰霊祭五十年祭に天皇皇后両陛下の行幸啓を仰いで、昭和天皇御製奉誦、十一月八日関西・中国地区講習会(松山)講師と行事が続きます。

体を大事に頑張らなきゃと思うことしきりであります。
 (理事長)

本部だより

平成二十一年度春季昇段審査 結果報告

右審査会が、四月十九日(日)中野区白鷺会館に於いて開催され、受験者はめでたく合格されました。

部の一般						少年の部	
初段	一名	中伝	三名	八段	二名	一級	一名
二段	七名	五段	一名	準師範	二名	三級	一名
初伝	二名	六段	四名	師範	一名	計	名
三段	名	奥伝	一名	計	二十九名		
四段	四名	七段	一名				
皆伝	二名	総伝	名	総本部審査委員会をへて昇段			
九段	二名	正師範	五名				
秀伝	名	教授	六名				
十段	四名	範師	名	計	十九名		

★新入会員のご紹介

次の方々が入会されました。どうぞ宜しく。

- 1、穂鷹 里香(中野会③) 会員No.七六二(二二、一、二二付)
- 2、浅野 愛子(中野会②) 会員No.七六三(二二、一、二五付)
- 3、鈴木 好子(中野会③) 会員No.七六四(二二、一、三二付)
- 4、大庭 由子(中野会③) 会員No.七六五(二二、二、二付)
- 5、吉田 兼水(若草) 会員No.七六六(二二、三、九付)
- 6、有原 光子(中野会③) 会員No.七六七(二二、四、一五付)
- 7、田中佐祁子(若鷺) 会員No.七六八(二二、四、一七付)
- 8、菅野 椿(こだま) 会員No.七六九(二二、五、二六付)

★次の方々が、二十一年度正会員に加入されました。

- ご協力有難うございます。
- 1、大塚 厚水(鷺宮)
 総会時配布名簿(二一、五、八付)に記入漏れがありました。
 した。お詫びして、記入方をお願いします。
 - 2、東 鶴水(国分寺①)

★教本の値上げについて

吟道出版社からの申入れにより、理事会審議の結果次のとおり教本が値上げされることになりました。

- | | |
|--------------|--------------|
| 範典 | 一、二〇〇円↓、四〇〇円 |
| 教典 | 六〇〇円↓、七〇〇円 |
| 教典と同型の構成吟詩集等 | 六〇〇円↓、七〇〇円 |

但し本会には在庫が若干ありますので、在庫品については従来どおりとします。

二十五周年春の全国大会に参加して

龍陽会第一 岩井龍絢

しばらくぶりに大会に参加して感じたことは全国より集まって来られた人々は、大変な思いでこの会場へ来られたことと思いますが、元氣な顔見知りの人々とお会い出来るうれしさは電話では味わえない喜びを感じます。

開場は、九時十五分より席に着いてプログラムを見たところ、顕彰者名簿に南洲吟道会からは、宗師のところに六名、そのうち座間会から二名の名前がありました。よくぞここまで続けてこられたものと、しみじみ考え深いものがあります。そして先生に推薦していただきましたことを感謝申し上げます。

吟詠は一部から七部まででしたが、女子は「落花」、男子は「夜坐」を吟じました。

式典に入り、優勝杯返還があり、南洲吟道会も三位の杯をお返ししました。式典が終わりコンクールは理事長長洲神先生が審査委員長で二十三組が出場しました。

構成吟に入っさずが菊田さんと米長さんの「山中の月」が一番すばらしかったと思います。他の会の人々もほめておられました。本当に良き指導者と出会った喜びと幸せをしみじみと感じます。

大会で感じましたことは、合吟でも独吟でも「出」が一番大事だと思えます。吟題をいう人は教科書のような読み方ではなく、最後は「三」に落とさないと、音程が狂ったり、出がそろわなかったりする、これはあくまでも基本ではないでしょうか。

時代が変わっても、この基本は変えてはいけないと思えます。又、声は心を表すものです。自分の音は「ミ・ファ・ド・シ」の音をコンダクターなしでも出せるよう身につけていきたいと思えます。

来る十月の三十五周年の大会に向かって健康に留意し、両先生と共に大会の成功をめざして精進していきたいと思っております。

以上

詩吟って何？

若鷺教場 米 田 こそ絵
若鷺教場 米 田 こそ絵

西武新宿線鷺宮駅周辺を主人とウォーキング中（散歩）一軒のお家の看板が目にとまりました。そこには立派な『吟道会』の表札！ 私は「このお宅は怖い人達のお住まいに違いない。」その事を主人に話すと……（笑）

詩吟とは大きな声を出して和歌や漢文等を詠む事、何より複式呼吸を使うので身体の健康にもよろしく又対人関係に於いて会話や発言、想いが伝わり易くなると言われ何となく納得しました。月日が流れてあの日……

二〇〇八年八月初旬鷺宮駅でピラ撒きの人が二人女性と男性北口の階段下に待ちかまえて、女性はスポーツジムの勧誘。Tシャツ半パン姿の男性もてきり同じピラだと私は思い込み何気なく貰ってしまった。ピラを見れば『九月無料詩吟体験教室』ん？ 主人が絶賛していたあの「詩吟」！ 習いたいと言っていたし……早速ピラを見せたところ、「仕事で時間が取れないから代わりに行ってくれ」っえ？

私が行くの？ そんな事になるなんて！

九月第一（金）私の詩吟人生が始まりました。お稽古にも慣れて無いのに十一月結婚式の余興を頼まれたのでレッツTRY

【初吟詠】させて戴きました、緊張で心臓バクバク息を吸うのがやっつと、恥ずかしくて顔が赤面良い経験でした。☆☆☆

春の昇段審査も大変勉強になり良い刺激になりました。終えて片付けをする為本部へ↓↓↓すると『吟道会』以前見た表札……私『南洲吟道会』と深い縁があるとその時感じました。感動です。

今お稽古で思う所は自分の発声が如何に悪いか！ 通常会話から口の開閉を意識しないと吟声と言っモノは出てこない？？？ 日々の積み重ねが大切【継続は力なり】一番不得意な所では有りますが。挑戦してみたいです。

三十五周年大会にて、皆様とお会い出来るのを楽しみにしております。

合掌

南洲吟道会に入会して

白鷺教場 藤 田 淳 祥

昨年五月、当南洲吟道会に入会させて頂きまして一年。他吟会に八年、言い様のない物足りなさを感じての退会でした。その後流派を問わずの見学行脚を二年、薦めてくださる方が有り、何よりも吉永洲神先生ご夫妻の御好意もありまして正会員として入会させて頂きましたことに感謝致しております。

今迄経験した事のない詩吟に向き合う会員の皆様の心意気、何事も前向きに取り組んで居られる姿勢に本物の詩吟に出会えた幸せを感じます。漢詩、詩吟、吟、心地良い響きに、四十路を過ぎた頃下手な横好きの歌大好き人間の私は詩吟に心癒される自分を発見。しかし知識不足から声の高さに無理と諦めて十数年。還暦近くなり始めて本数のある事を知り早速入会。知る程に疑問、迷いが生じ、それを消化する事が出来なく悩み、ジバング漢詩講座等に通ってみたのですが、なかなか理解するのシン・ソング漢詩講座区々……で、みなさんのような苦勞致しました。南洲吟道会では一年生です。古希を過ぎて尚少しでも努力を惜しまず心身共に、自分を磨いて行けたらと又楽しんで吟じたいと思えます。諸先輩の心意気、姿勢に少しでも近づけて行けたらと考えて、それには健康で日々普通の生活が出来る事、協力してくれる家族のため、勿論自分のためでもあります。が少々余裕の人生でありたいと念じております。

六月十日

広報からのお知らせ

今年も半分が過ぎ、夏が過ぎるといよいよ南洲吟道会創立三十五周年記念大会です。理事長の文章にもありますように早くから準備にかかり、まだまだ先の話しだと思っていたのも束の間、あっという間にその日がやって来ます。

七月・八月には何度か総合練習も予定されております。大会を成功させるためにも全員参加して、皆でテンションを揚げ盛り上げて行きたいものです。

大会終了後早々に広報誌「敬天愛人」を発売したいと思っております。大会の感想・反省・今後の展望等々なんでも結構ですので原稿をお寄せ下さい。指導者の先生方は各会・教場で前以て一人指名しておいて原稿を是非お願いしたいと思えます。締め切りは十一月十日とさせていただきます。ご協力の程どうぞ宜しく御願致します。

広報局より